



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <https://www.ngkntk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石田 有都己 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	76,673	△29.2	1,688	△89.5	3,193	△78.4	2,401	△77.3	2,615	△75.1	5,194	△3.3
2020年3月期第1四半期	108,344	—	16,143	—	14,775	—	10,568	—	10,501	—	5,369	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2021年3月期第1四半期	12.86		—	
2020年3月期第1四半期	50.45		—	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2021年3月期第1四半期	692,924		397,414		394,133		56.9	
2020年3月期	663,374		399,737		395,876		59.7	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭		円 銭		円 銭	
2020年3月期	—		35.00		70.00	
2021年3月期	—		—		—	
2021年3月期(予想)	—		25.00		50.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	182,000	—	7,900	—	9,200	—	7,000	—	34.41	
通 期	405,000	△4.9	33,000	△31.9	34,300	△23.4	25,000	△25.8	122.90	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社グループは、2020年3月期末の連結財務諸表からIFRSを適用しています。そのため、日本基準を適用していた2020年3月期第2四半期の実績値に対する増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	204,175,320株	2020年3月期	204,175,320株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	742,386株	2020年3月期	754,599株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	203,424,783株	2020年3月期1Q	208,150,945株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 (IFRSの適用)

当社グループは、2020年3月期末の連結財務諸表からIFRSを適用しています。そのため、前四半期連結累計期間の数値につきましてもIFRSに準拠して開示しています。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(要約四半期連結財政状態計算書に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

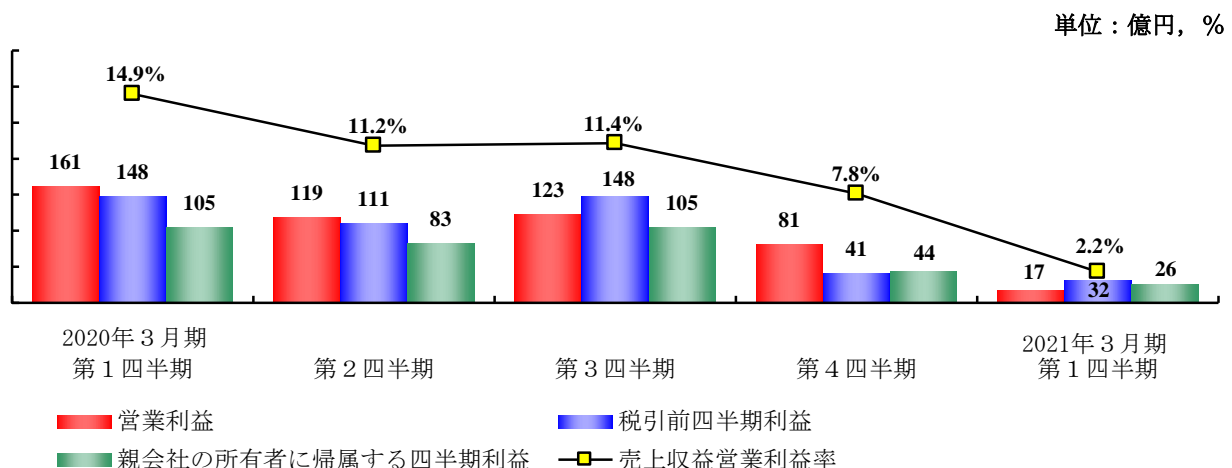
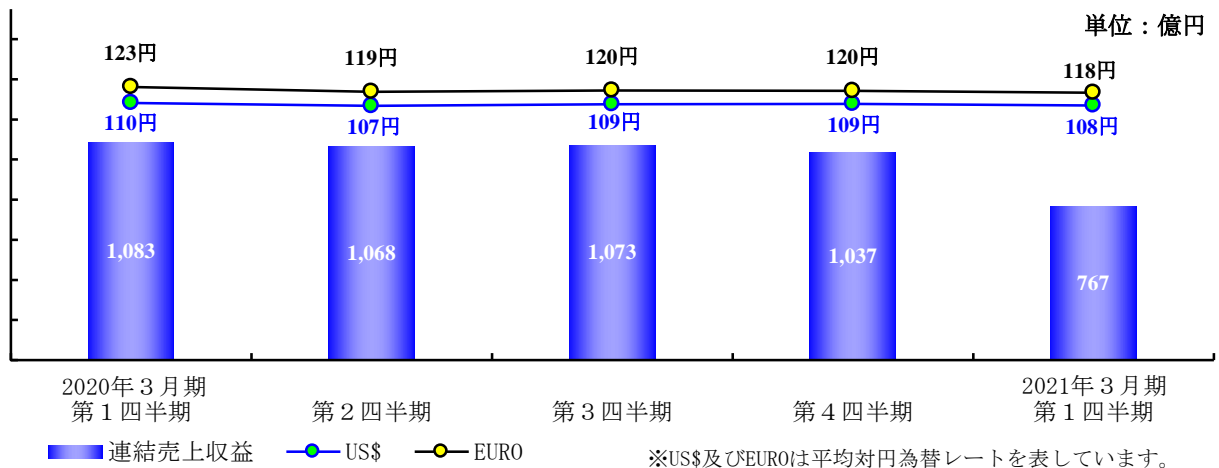
当第1四半期における世界経済は、米国及び欧州においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により企業活動が全面的に停滞し、これまで景気の下支えとなっていた個人消費についても、外出規制や雇用環境の悪化により急速に落ち込む状況となりました。5月以降、各国においては外出規制の解除等、段階的に経済活動の再開に動き始めており、景気の悪化は一旦底を打ったものの、感染が再拡大するリスクに加え、米中関係の悪化といった不安材料もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いています。中国においては、経済活動再開によるインフラ投資等、内需の回復が見られるものの、外需の低迷が景気回復の重石となっています。わが国経済においては、緊急事態宣言等の影響により個人消費や企業業績が悪化し、また世界的な経済活動の停滞により輸出が大幅に減少する等、景気は悪化傾向となりました。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車販売は、米国及び欧州においては新型コロナウイルスの感染拡大による外出規制や雇用環境の先行き不透明感を背景とした個人消費の落ち込みにより、前年同期比で大幅に減少する結果となりましたが、経済活動の再開以降、回復の兆しが見受けられます。また、中国においては経済活動の再開以降、各地での持続的な自動車購入を促進する政策により、前年同期比で上回る結果となっています。

半導体製造装置業界においては、新型コロナウイルスの感染拡大により、スマートフォンの販売減速や自動車市場の低迷といったマイナス要因があるものの、テレワーク等の拡大によりデータセンター向けの設備投資は回復傾向にあり、半導体製造装置市場全体としては前年度に比べ拡大基調となっています。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上収益は766億73百万円(前年同期比29.2%減)、営業利益16億88百万円(前年同期比89.5%減)、税引前四半期利益31億93百万円(前年同期比78.4%減)となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は26億15百万円(前年同期比75.1%減)となりました。

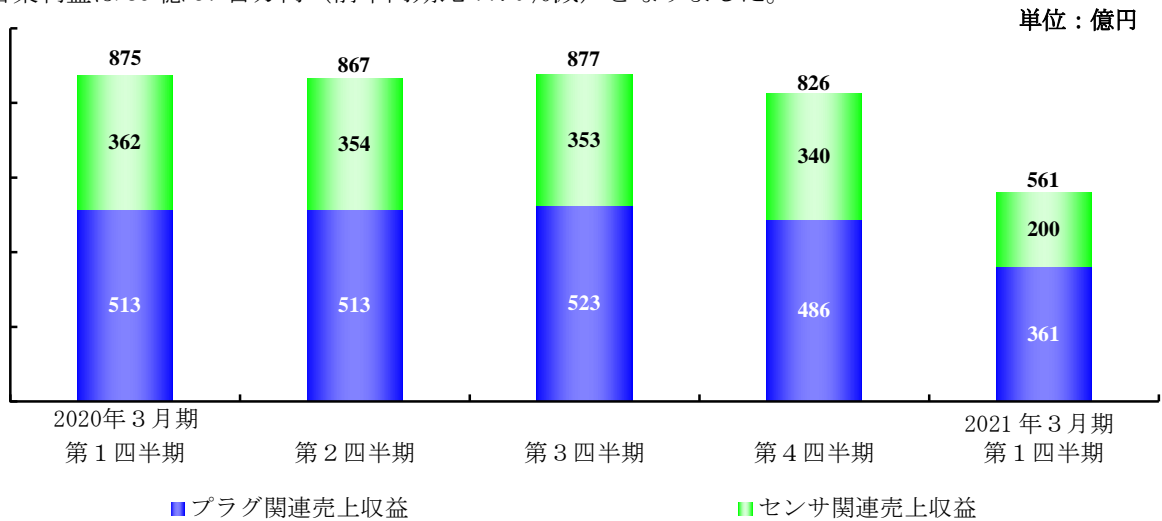
なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメント区分を変更しています。詳細については、P.14「(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報) II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。



〈自動車関連〉

当事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により、自動車メーカーをはじめとした操業活動の停止による影響から当社販売は前年度と比べ落ち込む結果となりました。なお、各国による段階的な経済活動の再開以降は、当社販売は新車組付用製品及び補修用製品ともに回復基調にあり、また、中国においては好調な新車販売を受け、当社販売も堅調に推移しました。

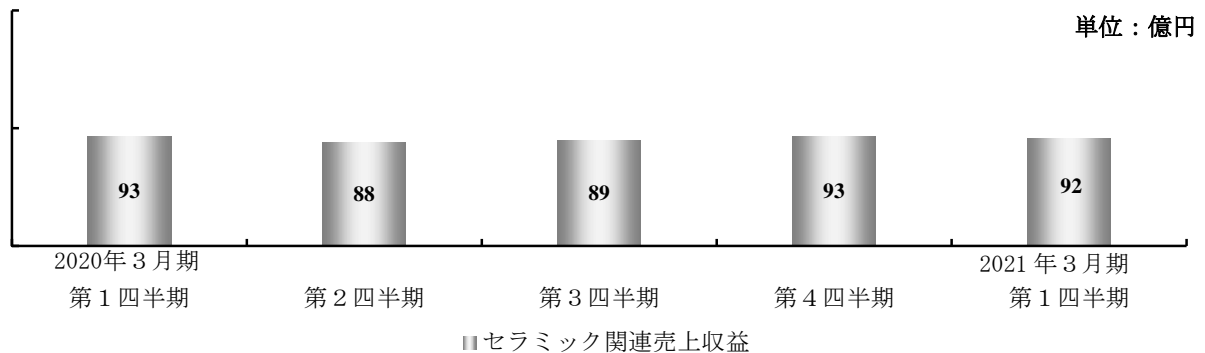
この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は561億28百万円（前年同期比35.8%減）、営業利益は39億57百万円（前年同期比77.0%減）となりました。



〈セラミック関連〉

当事業は、自動車関連向け機械工具の出荷は市場環境等の悪化により落ち込みが見られるものの、半導体製造装置用部品については市場環境等の回復基調を受けて、当社販売も堅調に推移しました。

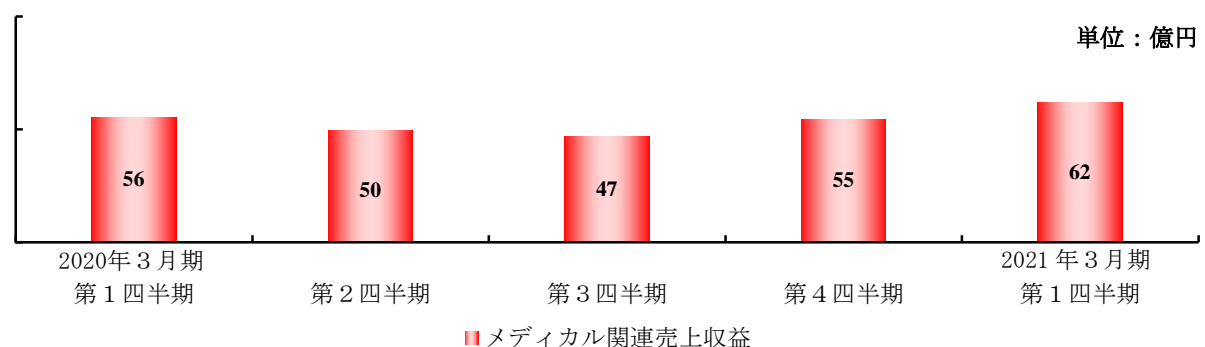
この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は91億50百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は4億20百万円（前年同期比398.3%増）となりました。



〈メディカル関連〉

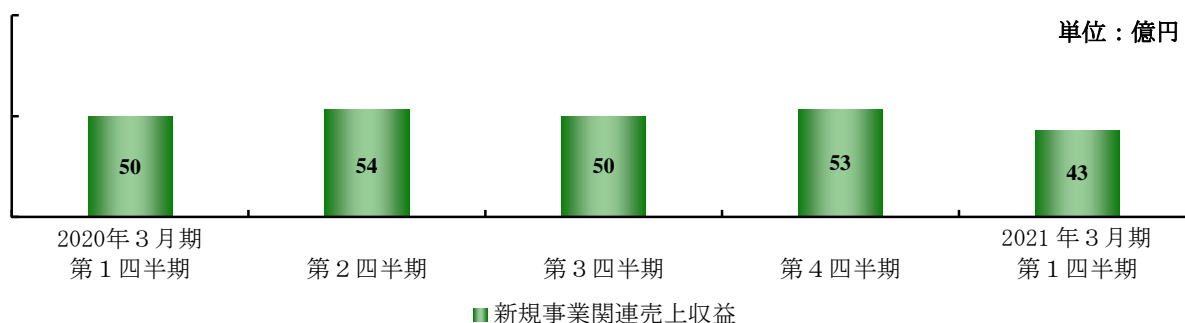
当事業は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い手術件数が減少したことにより、人工骨等のインプラント製品の販売は減少したものの、酸素濃縮装置については在宅治療の需要拡大が販売増加に寄与しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は61億87百万円（前年同期比11.4%増）、営業損失は4億49百万円（前年同期は1億13百万円の営業損失）となりました。



〈新規事業関連〉

新規事業関連については、当第1四半期連結累計期間の売上収益は43億7百万円（前年同期比13.3%減）、営業損失は23億25百万円（前年同期は10億78百万円の営業損失）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び資本の状況)

	流動資産	非流動資産	資産合計	負債	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期第1四半期	340,851	352,073	692,924	295,510	397,414
2020年3月期	314,505	348,869	663,374	263,636	399,737

当第1四半期末の資産合計は、前連結会計年度末比295億50百万円増加の6,929億24百万円となりました。これは、主として営業債権及びその他の債権が減少した一方、現金及び現金同等物並びに棚卸資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比318億73百万円増加の2,955億10百万円となりました。これは、主として営業債務及びその他の債務が減少した一方、長期借入により借入金が増加したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比23億23百万円減少の3,974億14百万円となりました。これは、主として親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による利益剰余金の増加があった一方で、配当金の支払により減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期第1四半期	△2,682	△6,943	36,403	113,128
2020年3月期第1四半期	4,304	△13,231	21,678	86,228

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期は43億4百万円の収入に対し、26億82百万円の支出となりました。これは、主として税引前四半期利益及び営業債務が減少し、棚卸資産が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比62億88百万円減少の69億43百万円となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比147億25百万円増加の364億3百万円となりました。これは、主として配当金の支払による支出があった一方で、長期借入により増加したことによるものです。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額2億58百万円を加算した純額で270億35百万円増加し、1,131億28百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、世界各国による経済活動の段階的な再開を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定した結果、売上収益 4,050 億円（対前期比 4.9%減）、営業利益 330 億円（対前期比 31.9%減）、税引前利益 343 億円（対前期比 23.4%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益は 250 億円（対前期比 25.8%減）を見込んでいます。

なお、為替レートは、1 US\$=105 円、1 EURO=118 円を前提としています。

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手した情報に基づき判断した予想であり、新型コロナウイルスの収束時期の変動といった潜在的リスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	86,092	113,128
営業債権及びその他の債権	92,604	84,182
その他の金融資産	5,897	4,976
棚卸資産	116,720	124,248
その他の流動資産	13,189	14,316
流動資産合計	314,505	340,851
非流動資産		
有形固定資産	251,010	250,724
のれん及び無形資産	15,774	16,771
使用権資産	9,541	9,373
持分法で会計処理されている 投資	13,615	13,713
その他の金融資産	43,557	46,967
繰延税金資産	14,296	13,084
その他の非流動資産	1,073	1,438
非流動資産合計	348,869	352,073
資産合計	663,374	692,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	43,681	33,838
社債及び借入金	45,257	52,685
その他の金融負債	3,126	3,688
未払法人所得税	2,240	2,601
その他の流動負債	31,176	27,533
流動負債合計	125,481	120,348
非流動負債		
社債及び借入金	97,406	134,344
退職給付に係る負債	29,494	29,787
その他の金融負債	8,038	7,850
繰延税金負債	24	22
その他の非流動負債	3,191	3,157
非流動負債合計	138,155	175,161
負債合計	263,636	295,510
資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,791	54,815
利益剰余金	291,122	286,028
自己株式	△1,602	△1,576
その他の資本の構成要素	3,696	6,997
親会社の所有者に帰属する 持分合計	395,876	394,133
非支配持分	3,861	3,281
資本合計	399,737	397,414
負債及び資本合計	663,374	692,924

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	108,344	76,673
売上原価	△70,789	△56,746
売上総利益	37,554	19,927
販売費及び一般管理費	△21,767	△18,369
持分法による投資損益	272	124
その他収益	408	336
その他費用	△324	△330
営業利益	16,143	1,688
金融収益	861	2,028
金融費用	△2,229	△522
税引前四半期利益	14,775	3,193
法人所得税費用	△4,206	△791
四半期利益	10,568	2,401
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	10,501	2,615
非支配持分	66	△213
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	50.45	12.86
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	10,568	2,401
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△1,744	2,087
確定給付制度の再測定	19	—
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	0	△0
純損益に振り替えられる ことのない項目合計	△1,724	2,087
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,144	670
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△330	35
純損益に振り替えられる 可能性のある項目合計	△3,474	705
その他の包括利益 (税効果控除後)合計	△5,198	2,793
四半期包括利益	5,369	5,194
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,338	5,340
非支配持分	31	△146

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2019年4月1日時点の残高	47,869	54,835	284,228	△1,741	25,462	△3,226
四半期利益			10,501			
その他の包括利益					△1,743	△3,438
四半期包括利益合計	—	—	10,501	—	△1,743	△3,438
自己株式の取得				△73		
自己株式の処分				24		
剰余金の配当			△7,300			
株式報酬取引		17				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			19			
所有者との取引額合計	—	17	△7,281	△48	—	—
2019年6月30日時点の残高	47,869	54,852	287,449	△1,790	23,718	△6,665

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	確定給付制度の再測定	合計			
2019年4月1日時点の残高	—	22,235	407,427	2,564	409,991
四半期利益		—	10,501	66	10,568
その他の包括利益	19	△5,162	△5,162	△35	△5,198
四半期包括利益合計	19	△5,162	5,338	31	5,369
自己株式の取得		—	△73		△73
自己株式の処分		—	24		24
剰余金の配当		—	△7,300	△50	△7,351
株式報酬取引		—	17		17
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△19	△19	—		—
所有者との取引額合計	△19	△19	△7,331	△50	△7,382
2019年6月30日時点の残高	—	17,053	405,434	2,544	407,978

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2020年4月1日時点の残高	47,869	54,791	291,122	△1,602	19,250	△15,553
四半期利益			2,615			
その他の包括利益					2,087	638
四半期包括利益合計	—	—	2,615	—	2,087	638
自己株式の取得				△0		
自己株式の処分				25		
剰余金の配当			△7,134			
株式報酬取引		10				
子会社に対する所有持分の変動		14				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△574		574	
所有者との取引額合計	—	24	△7,709	25	574	—
2020年6月30日時点の残高	47,869	54,815	286,028	△1,576	21,912	△14,915

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日時点の残高	—	3,696	395,876	3,861	399,737
四半期利益		—	2,615	△213	2,401
その他の包括利益		2,725	2,725	67	2,793
四半期包括利益合計	—	2,725	5,340	△146	5,194
自己株式の取得		—	△0		△0
自己株式の処分		—	25		25
剰余金の配当		—	△7,134		△7,134
株式報酬取引		—	10		10
子会社に対する所有持分の変動		—	14	△433	△419
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		574	—		—
所有者との取引額合計	—	574	△7,084	△433	△7,518
2020年6月30日時点の残高	—	6,997	394,133	3,281	397,414

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	14,775	3,193
減価償却費及び償却費	7,512	8,381
為替差損益(△は益)	240	△994
受取利息及び受取配当金	△865	△681
支払利息	247	242
持分法による投資損益(△は益)	△272	△124
固定資産除売却損益(△は益)	123	149
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△4,444	8,738
棚卸資産の増減(△は増加)	△4,141	△6,937
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△1,120	△10,627
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	858	262
その他	△1,443	△3,845
小計	11,470	△2,242
配当金の受取額	723	675
利息の受取額	180	128
利息の支払額	△242	△246
法人所得税の支払額	△7,827	△997
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,304	△2,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,143	706
有形固定資産の取得による支出	△13,109	△5,995
有形固定資産の売却による収入	116	83
無形資産の取得による支出	△939	△615
事業の取得による支出	—	△998
投資有価証券の取得による支出	△424	△115
その他	△17	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,231	△6,943
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8	△17
長期借入れによる収入	—	44,562
社債の発行による収入	29,852	—
リース負債の返済による支出	△784	△672
自己株式の取得による支出	△73	△0
親会社の所有者への配当金の支払額	△7,257	△7,047
非支配持分への配当金の支払による支出	△50	—
その他	—	△419
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,678	36,403
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	△927	258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,823	27,035
現金及び現金同等物の期首残高	74,404	86,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	86,228	113,128

**(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(要約四半期連結財政状態計算書に関する注記)

当社グループは、自動車関連事業において過去の一部の取引では競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。現時点では、引当金の要件を満たしていないため、引当金を計上していません。なお、IAS 第 37 号「引当金、偶発負債及び偶発資産」に従い、当社の立場が不利になる可能性があるため、訴訟等に係る詳細な内容を開示していません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

セグメント収益及び業績

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書 (注) 2
	自動車 関連	セラミック 関連	メディカル 関連	新規事業 関連	計				
売上収益									
外部収益	87,469	9,312	5,555	4,966	107,304	1,039	108,344	—	108,344
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収益合計	87,469	9,312	5,555	4,966	107,304	1,039	108,344	—	108,344
セグメント利益 又は損失(△)	17,193	84	△113	△1,078	16,085	58	16,143	—	16,143
金融収益									861
金融費用									△2,229
税引前四半期利益									14,775

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. セグメント収益及び業績

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書 (注) 2
	自動車 関連	セラミック 関連	メディカル 関連	新規事業 関連	計				
売上収益									
外部収益	56,128	9,150	6,187	4,307	75,773	899	76,673	—	76,673
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収益合計	56,128	9,150	6,187	4,307	75,773	899	76,673	—	76,673
セグメント利益 又は損失(△)	3,957	420	△449	△2,325	1,603	84	1,688	—	1,688
金融収益									2,028
金融費用									△522
税引前四半期利益									3,193

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2020年4月1日付の組織変更に伴い、報告セグメント区分を従来の「自動車関連」並びに「テクニカルセラミックス関連」の半導体及びセラミックから、「自動車関連」、「セラミック関連」、「メディカル関連」及び「新規事業関連」の4区分に変更しました。従来「その他」に含まれていた環境エネルギー分野等の新規事業を「新規事業関連」として別掲するとともに、従来の報告セグメントでは「テクニカルセラミックス関連」に含まれていた半導体を新商材の開発に注力する組織に再編したことから、「新規事業関連」に移管しています。また、従来「その他」に含まれていた「メディカル関連」については、今後成長が見込まれることから報告セグメントとして別掲しています。なお、「新規事業関連」の別掲に伴い、新規事業に係る研究開発費用の配賦方法を変更しています。

以上のセグメント区分の変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。